

E
エッセイ
Essay.姉妹都市提携
10周年を迎えてオハイオ州立トリード大学
外国語学部日本語学科

主任教授 原 ジョセフ



昨年5月24日、トリード大学生来豊時の歓迎会にて

豊橋市とトリード市の間で姉妹都市協定が結ばれて既に10年が過ぎ、今年は10周年という素晴らしい記念の年を迎えようとしております。時は矢の如しとよく言われますが、過去を振り返ってみると感無量です。私個人としては13年前に豊橋を訪れており、姉妹都市協定が結ばれる前からお付き合いを始めました。その時は6人の大学生を連れて2、3日の滞在でしたが、豊橋市民の皆様からの温かいサポートが感じられ、将来に大きな希望が持てると思った経験があります。

オハイオ州立トリード大学の日本語学科は当時小さな存在でしたが、国際交流が本格的になったことにより、学生たちに大きな反響がありました。それは両市間の交流が現実となったからです。以来、毎年3週間の日本研修旅行の一部として、豊橋市に1週間滞在することを研修課程に入れております。その結果、日本語学科も大きく発展し、現在では250人が登録しており、研修旅行の参加にも定員の2、3倍の競争率となっています。教授陣も二人の助教授を採用し、また豊橋出身

の山崎華純さんを大学院研究生として採用し、毎日活気に満ちた授業が展開されております。

日本研修旅行に参加した学生達の世界観は大きく広がり、豊橋でのホームステイの経験は彼らの将来に強く影響しているのが事実です。また、豊橋市から中学生や高校生が、アメリカ体験旅行やインターナショナルユースアカデミーに参加するためトリード市を訪れる際、こちらでホームステイのお世話させていただく機会も与えられました。これも姉妹都市としての発展の結果の一つであると信じております。

今までにトリード大学からは何人もの卒業生がアシスタント英語教師として豊橋で活躍しております。ライアン・ビゲロから始まり、現在まで10人以上の卒業生がJETプログラムや豊橋市教育委員会を通して豊橋での生活を経験することができました。現在、4名の卒業生が小学校や中学校で活躍していることをとても嬉しく感じております。また、愛知大学とも交換留学協定を3年前に結ぶことができ、毎年、二人の学生が愛知大学で勉強しております。トリード大学にも愛知大学から毎年二人の学生を迎え入れており、彼らは国際交流の意義を体験しつつ毎日勉学に励んでおります。

今年は、姉妹都市提携10周年記念の行事が行われようとしております。豊橋市とトリード市の間で音楽による交流の機会がもたれることになり、将来の音楽交流が始まるきっかけになると信じております。

姉妹都市関係はさまざまな方向に発展しておりますので、将来を思うと心が弾みます。私は豊橋に訪問する度に故郷に帰ったような感じがいたします。それも皆様の温かい支持があるからだと思っております。



昨年11月14日の協会設立20周年記念式典にて、トリード大学出身のALTたちと